

## 第三・駒場が私の原点

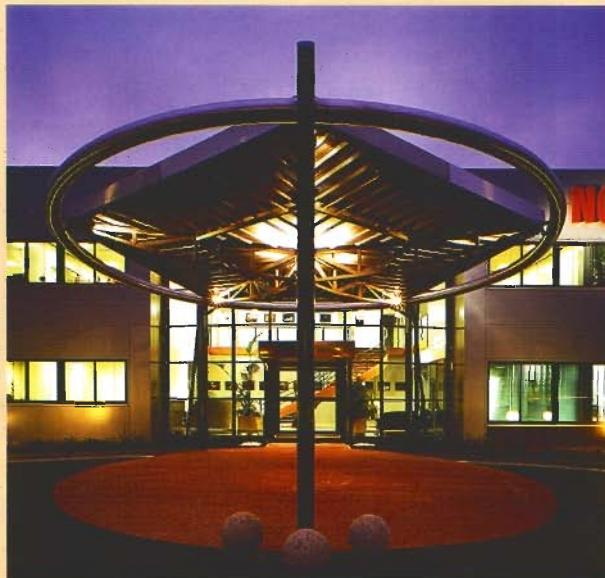
パリからこんにちは!

## 在仏40年、人間の住環境重視の創造建築

早間玲子氏(駒4)

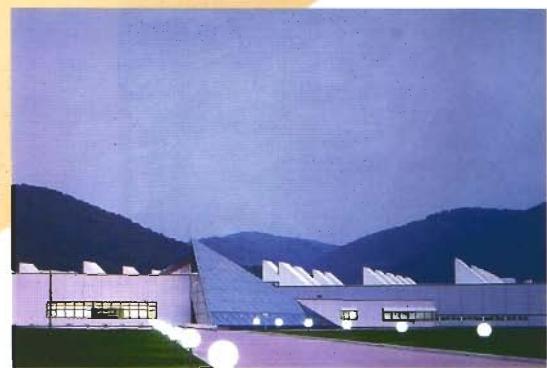


在仏日本人学校



ノーリツ鋼材フランス本社

現在、パリを拠点とし、数々の建築を生み出し、今もなお数多くのプロジェクトを手がけている。生涯人のための建築に取り組んだブルーヴェの精神を感じることができる。



コニカ・ミノルタ工場全景

「依頼主と建築家が論議し、人間としてお互いに尊敬の念が芽生えた時に、いい建物ができる」と発言される早間玲子氏は、フランス最高のレジオン・ド・ヌール勲章を受賞された日本人唯一の女性建築家。

今回は在パリから母校に対する想いと建築に関するコンセプトをお聞かせいただいた。

駒場松桜会会報

第79号

2006年9月1日発行  
財團法人駒場松桜会  
都立駒場高校同窓会

〒153-0044  
東京都目黒区大橋2-18-1  
都立駒場高校内  
電話 03-3466-7579

恐らく私が3歳の頃であつたかと思います。麻布で生まれ育つた私が祖母に手を引かれて屢通つた第三の前、「将来は此処に入りましょうね。」という祖母の言葉を思い出します。そして6年間の第三高女、駒場高校の日々を想う時、戦後の物資不足と混沌とした社会の真っ只中に、唯一筋に「生きる」意味を暗中模索した頃のあれこれや、殺伐とした焼け跡に咲いた白百合の如く清らかに涼として輝いていた先輩、学友達のことが走馬灯の如く目前に現われ、自己形成の基盤はこの時に育まれ、掛け替えの無い中学、高校時代を過ごしたことを実感致します。

建築を志した私は、大学も職場も当時のことですから紅一点、詰まるところプレッシャーを感じ大分不便な経験も致しました。フランスに来て先ずシャルロット・ペリアンの協力者になつたことは大変幸運であったと思います。女性であるからこそ男性とは違うものを創る感性を取り出して育むことを実感致し、稀にみる彼女の秀でた強靭

在も年末には40年、ああ日本を離れてそんなに長い時間が経つてしまつたのかと感慨無量の想いを深めます。

な個性が、"可能"という言葉を私に贈って下さいました。

大学では山越邦彦教授が既に地球環境汚染を予見されておられ、人間の住環境進展の創造に奉仕すべき建築への炎を私に点火して下さいました。

昨年は前川國先生誕百年祭、作品展覧会が開催されました。前川國男、弟子達は語るのも出版され有志の方々と共に私も執筆致しました。ヒューマニズムに基いた建築哲学を学んだ先生の弟子達が、日本の建築界を如何に背負つていったかを再認識することが出来ました。

ル・コルビジエの弟子であつた前川國男に師事したことが、私がフランスに長期滞在する原点となっています。世界の国々

ベレバ・ゴルフクラブの入り口並が何処までも続いて、丁度、成田空港に到着して東京に至るまでの間、否応なく目に飛び込んで来る騒々しい景観に似て大変残念に思いました。美観に就いてですが、ヨーロッパ

(建築写真 ファブリス・ランペール)



ベレバ・ホテル・ゴルフクラブ全景

この4月には、尾道での会議で日本に4日間滞在しました。尾道で訪れた1350年頃建設された寺院建築のなか

で久しぶりに「瞑想の建築」を見出したことは大変な収穫でした。しまなみ海道を通り四国・松山に至る瀬戸内海の街道筋は美しい自然

のエネルギーは、日本のアイデンティティを築き、国際社会に確乎たる信頼を築いていく為に用意されたものと期待しております。

このエネルギーは、日本

のアイデンティティを築き、国際社会に確乎たる信頼を築いていく為に用意されたものと期待して

おります。

トリエに入つて間もない私を、躊躇せず彼の代理として会議や検査等に派遣されました。信頼によつて能力が120%にもなり得ることは、後に所員に適用することになりました。顧みれば、日仏を通じて数々の出会いに恵まれながら、私は建築のもたらす可能性を求めて長い旅路に出発いたしました。

の最も美しい都市の一つと数えられるパリ、これは長期に亘つて社会啓蒙を施し、自然・都市環境保護を大切に維持してきた都市政策の賜物であると思いま

す。しかしながら、内海で出会つた若者の澁刺とした表情とダイ

ナミックな最近の芸術作品に接

して、日本の次の時代を

背負う底力を感じ取り、嬉しくも大層心強い思い

を深くしてパリに戻りました。

このエネルギーは、日本

のアイデンティティを築き、国際社会に確乎たる信頼を築いていく為に用意されたものと期待して

おります。

から建築家が訪れる著名なジャン・プルーヴェのアトリエでは、性別とか国籍上の区別は全く存

在せず、私も渾身の力を籠めて

建築に没頭することが出来まし

た。例えば、プルーヴェは、ア

トリエに入つて間もない私を、

躊躇せず彼の代理として会議や

検査等に派遣されました。信頼

によつて能力が120%にもなり得

ることは、後に所員に適用する

ことになりました。顧みれば、

日仏を通じて数々の出会いに恵

まれながら、私は建築のもたら

す可能性を求めて長い旅路に出

發いたしました。



日立製作所フランス工場、本社

## 略歴

建築家 AAT・Reiko HAYAMA・Architecte 主宰 在パリ  
横浜国立大学工学部建築学科卒業、1級建築士  
日仏工業技術交換留学生として渡仏、エコール・ド・ボザール卒業資格獲得  
私立エコール・スペシャル・ダルシテクチュール客員講師、卒業  
主作品:キヤノン、ミルタ、日立製作所仏工場、パリ日本人学校、等  
フランス文化勲章、レジオンドヌール勲章受賞、日本外務大臣表彰受賞

# 同窓生のつどい!

## 06年度 学園祭のお知らせ

### 都駒祭 とりこまさい

- 仰光寮ではご好評の美術展を開催します(塙小路光孚氏の篆書の講座作品を展示)
- 会場では総会・講演会・講座の様子を展示でご覧いただけます
- お休み処には茶菓も用意しておりますので同期会やクラス会の打ち合わせ、お待ち合わせ、ご休憩にご利用下さい
- コチロンダンスのDVDの映像もながれますので、皆様でダンスをどうぞ!

● 塙小路光孚(駒12)氏がご来校下さいます ●

ご希望の方は9月11日(月)までに松桜会事務局へお申し込み下さい。

恒例  
コチロン合宿のお知らせ  
ご一緒に「コチロン三昧  
してみませんか!」

日時 9月26日(火)～27日(水)  
場所 国立女性教育会館  
費用 宿泊費2,000円  
食事代3,000円程度

から母校2階会議室で開催されました。まず、横河理事長から同窓会松桜会101年、新しい世紀に入り、伝統を重んじながら組織の充実と活性化をめざし、新会員との交流をはかり活動の輪を広げていくという抱負と挨拶がありました。

続いて河村校長から伝統

## 06年度総会



### 講演会を終えて

総会終了後の羽島知之氏(駒6)の講演会は、まず4月に放映されたTV番組「なんでも鑑定団」の録画が流れました。ジョセフ彦が横浜で慶應元年(1865)に創刊した日本最初の民間新聞「新聞誌」が登場、これは羽島氏が近年発掘した歴史の一部が書き換えられるという逸品、氏のコレクションの質の高さが紹介されました。

大村先生との不思議な出会いがきっかけで、半世紀以上的新聞資料のコレクションが大村先生の著書「心のパン屋さ

れました。大村先生との不思議な出会いがきっかけで、半世紀以上的新聞資料のコレクションが大村先生の著書「心のパン屋さ

れました。大村先生との不思議な出会いがきっかけで、半世紀以上的新聞資料のコレクションが大村先生の著書「心のパン屋さ



懐かしいアルバムを開いて



大村先生の資料を展示

大村先生に関して「お名前は知っていたがこの講演で先生の事跡が良く分かった」教師をなさいいた同窓生からは「教員時代に大村先生の書籍を読んで、とても励まされ、先生を尊敬する多くの方々との出会いがあつた」などの感想をいたしました。

5月27日(土)午後1時から母校2階会議室で開催されました。まず、横河理事長から同窓会松桜会101年、新しい世紀に入り、伝統を重んじながら組織の充実と活性化をめざし、新会員との交流をはかり活動の輪を広げていくという抱負と挨拶がありました。

続いて河村校長から伝統

ある駒場高校に学ぶ生徒たちは高い目標を持つて自立的に学び行動しており、進学状況も良く、スポーツ面も成績がよく文武両道で活躍しています。また、昨年は松桜会のお骨折りで張富士夫氏に講演をしていただきことができ、生徒たちの励みになりました。

恒例の生徒会活動への助成金は石川理事から恩田副校長へ贈られました。次に都立小石川工業高校から転任された竹内副校長の紹介があり、最後に校歌斎唱して、講演会へ移りました。

講演会後、茶話会に続き今年卒業した58期生の案内で、校内見学ツアーを行ない好評を得ました。



校内ツアー

### 部会・同期会開催のお知らせ

#### ◆越倉支部会

日時 9月30日(土)11時30分

#### ◆第三43、44回学年会

日時 10月31日(火)12時30分~

場所 国際文化会館

連絡先 国島瑠璃(D43) Tel 04-2964-9470

#### ◆駒3同期会

日時 2006年10月24日(火)12時

場所 水交会(渋谷区神宮前1-6-3 東郷記念館1階)

連絡先 早川淑子(駒3) TEL 03-6789-3603

#### ◆駒4同期会

日時 10月21日(土)13時~16時

場所 青学会館 渋谷区渋谷4-4-25

会費 8,000円 Tel 03-3409-8181

#### ◆駒8同期会

日時 10月27日(金)13時~15時

場所 LINTARO(銀座松坂屋裏) 03-3571-2037

#### ◆駒26同期会

日時 11月4日(土)14時~

卒業以来初めての同期会です

### 掲示板

#### ★同窓生の集う駒場の第9 “歳末助け合い運動参加” チャリティーコンサート

2006年12月2日(土)14時~ オペラシティコンサートホール

司会: 朗読: 加賀美幸子(駒11) 元NHKアナウンサー

(第一部) 交響曲第9番 ニ短調 ~シラー“歓喜に寄す”合唱付き~ 3.4楽章

指揮: 松岡 実(駒28) オーケストラ: Komaba Symphonik 21(同窓生)

合唱(同窓生、一般) Sop. 鮎島有美子(駒22) 予定 Alt. 小泉弥生(駒17)

Ten. 岡崎実俊(元駒場教諭) Br. 門屋留樹(駒16)

(第二部) ~ウィーンはウィーン~(仮) ピアノ: 森島英子(駒22) ほか

主催: 駒場プロジェクト21 共催/協力: 東京音協: 03-3201-8116(お問い合わせ)

後援: (社法) 朝日新聞厚生文化事業団 目黒区教育委員会

東京フィルハーモニー交響楽団 オーストリア政府観光局 etc.

入場料: 3000円(全席自由) 一般発売日: 9月上旬 Line Up 8.9.10月号

プレイガイド: 東京音協 03-3201-8116 電子チケットぴあ 0570-02-9990(Pコード)

ローソンチケット 0570-084-003(Lコード)

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

(この企画は松桜会事業ではありません)



赴任したのは昭和36年（1961）4月1日でした。普通科に芸術科（音楽科・美術科）、体育科が併設されている都立高校の中でも特異な存在である名門校で自分の専門を生かせることに大きな喜びを感じました。赴任して一年間は普通科音楽の授業を受け持ちましたが、次の年からは音楽科の専任となり将来日本の音楽界を担うことになるプロの卵達の教育に専念することになりました。

今思い起こしますと、赴任して1年間の普通科音楽の授業には普通科の他に美術科、体育科の生徒達の授業もありましたから、それぞれのクラスに合わせて授業内容を考えるのに苦労しましたが、それぞれ意識の違う生徒達に音楽を教える喜びと楽しみのほうが多かったように思います。現在はその面影はありませんが、音楽科と美術科のホームルームは駒

幼稚園側が美術科の専門教室、運動場側がホームルーム教室と我々教員の職員室で、音楽科の専門教室は運動場を横切つた今の芸術高校のところにありました。5号館を思つただけでその当時の風景やレッスン室、オケ室、合唱、ソルフェージ室、穴のあいた床などがまざまざと浮かんてくるのは私だけではなく、そこで学び、巣立つていった卒業生の皆さんも同じだらうと思います。学校全体で行つた修学旅行、高校にも波及した学校紛争など、今は懐かしい思い出のかにあります。今年12月2日に「駒場プロジェクト21」の企画で、同窓生の集う駒場の第九というイベントに出演を依頼され、当時の教え子達大きな喜びを感じ、楽しみにしてい るところです。

# 同窓生の集う駒場の第九

岡崎 實俊（音楽）

略

- 1961年 東京藝術大学音楽学部声楽科卒業  
安宅賞受賞

1974年 シュトゥットガルトに留学

1991年 ミュンヘンに留学  
洗足学園音楽大学名誉教授  
二期会会員



コンサート、オペラ、オラトリオで活躍。ドイツ歌曲の分野で中山悌一氏の薰陶を受け、ライフワークとしてドイツ歌曲の研究と演奏に取り組む。人間的な温かさに溢れたその演奏は各地で絶賛を博している。

5月に津田ホールで開催されたリサイタルでは、変わらぬ美しい歌声で多くの聴衆を魅了しました。

## 「歌う」と云うこと

原田 とみ子 (駒2)



プロフィール  
東京藝術大学音楽学部声楽科卒  
ジュリアード音楽院留学  
コロンビア大学 Opera  
Workshopで学ぶ  
洗足学園音大講師、昭和音大講師を経  
1976年 パリ、ウィーンで学ぶ。  
2001年 CDリリース

歌は誰でも歌える。どこでも歌える。楽器はいらない。自分自身が楽器だから。これ程便利で簡単なものは無いけれど、出来合いの良く鳴る楽器を買ってくると云う訳にはいかない。親から受けついだ体を、歌うのに都合よく作りなおす作業が必要になる。これを一般に「発声法」と云うのだと思う。しかし、体は一人ひとり違うので、ある一つの発声法が、誰にでも有効である、とも考えにくい。もう一つ、忘れてはならない事がある。

それは歌は「言葉」を歌っていると云うことだ。「言葉」には意味がある。その言葉の意味が、聞く人に伝わらなければならない。それには、その言葉の持つ語感、感情を正しく表現する必要がある。歌を歌う時、最も神経を使うのは、この点で、これを自分の思い通りに実現しようとすると色々なテクニックを使うことになる。

唇や舌を様々に使い分けて適切な表現に近づける。面倒な様だが、やってみると実に面白く、止められない。

もう一つ、歌うに当って誰もが気が付く大切な事、それは呼吸。呼吸は長ければ長い程、楽に歌えるし、そもそも呼気が無ければ声は出ない。長い呼気には十分な吸氣が必要だ。よく一般に「腹式呼吸」と云うけれど、この字を見ると、お腹でする呼吸と思ってしまう。

だが、お腹は食物の入るところで、息は肺に入る筈だ。

私は長年この間違いに気が付かず、どうしても、うまく歌う事が出来なかった。長年考え方をしていた事に気付いてから、呼吸法をすっかり変え、そのための筋トレもして、ようやく思う様に歌う事が出来る様になってきた。

人間、幾つになっても変わろうと思えば変る事が出来るものなのかな～と実感しています。

## 駒場高校大学合格状況

国公立大学	H17		H18		私立大学	H17		H18	
	現	・浪	現	・浪		現	・浪	現	・浪
帝広畜産大	1				津田塾大	3			
北海道教育大	1				帝京大	5	5	2	
会津大	1				東海大	5	8	1	
群馬大		1			東京医療保健大	2	6	1	
宇都宮大		1			東京音楽大			1	
茨城大	1				東京家政大	2	2		
筑波大		1	1		東京家政学院大	2	2		
埼玉大	1	4			東京経済大	5			
千葉大	2	2			東京工科大	4	1		
東京学芸大	8	6	1		東京女子大	2	5	1	
東京農工大	2		1		東京女子医大	1			
東京藝術大		1	1		東京女子体育大		2		
東京海洋大	1	2	1		東京造形大	2			
電気通信大	1	2			東京電機大	4	2		
一橋大	1				東京農業大	11	10		
新潟大		1			東京薬科大	2	3		
信州大		1			東京理科大	8	6	6	
横浜国立大	1		2		東邦大	1	1	1	
大阪大		1			東洋大	20	21	8	
宮崎大	2				日本大	31	33	9	
鹿屋体育大	1				日本社会事業大		3		
都立大	7				日本獣医畜産大	1			
首都大学東京		6			日本女子大	8	21	1	
都留文科大			1		日本女子体育大	4	6		
横浜市立大	4	2			日本体育大	5	4	1	
合計		35	30	9	文化女子大				

私立大学	H17		H18			H17		H18	
	現	・浪	現	・浪		現	・浪	現	・浪
青山学院大	31	19	3		武藏工業大	2	7	2	
亞細亞大	2	3	1		武藏野大	6	7	3	
桜美林大	6	4	1		武藏野音楽大		1		
大妻女子大	3		1		武藏野美術大		1		
学習院大	12		1		明治大	34	37	19	
学習院女子大		3			明治学院大	17	22	8	
北里大	6	9	1		明治薬科大		5		
共立薬科大		2			明星大	3	3		
杏林大		1	2		立教大	21	19	6	
慶應義塾大	7	7	1		立正大	1	5		
工学院大	2	5	1		和光大	1	3		
國學院大	1	3			早稲田大	50	22	20	
国際基督教大	2				麻布大	5	2		
国士館大	8	10	2		神奈川大	6	14		
駒澤大	33	20	3		東京工芸大	1	2		
実践女子大	5	1			東洋英和女学院大	3	5		
芝浦工業大	9	5	4		フェリス女子大	2	1		
順天堂大	4	3			横浜薬科大		1		
上智大	12	8	4		城西国際大		1		
昭和大	3	3	1		淑徳大		1		
昭和音楽大		1	1		千葉科学大		1		
昭和女子大	3	9	1		帝京平成大	1	1		
昭和薬科大		5			麗澤大		1		
女子美術大	1				和洋女子大		1		
白百合女子大	2				城西大		1		
杉野服飾大		1			獨協大	2	3		
成蹊大	18	12	3		文教大	7	7		
成城大	4	9	1		その他	37	2		
専修大	15	19	2		合計		601	705	

平成17年は現役・浪人を合せた数、  
平成18年は現役・浪人を分けた数を  
掲載しました

## 平成17年度収支計算書 財駒場松桜会

平成18年3月31日

単位:円

科目	予算額	決算額	差異
会費収入	7,825,000	8,234,000	409,000
入会金	1,625,000	1,620,000	-5,000
会費	6,200,000	6,614,000	414,000
事業収入	1,300,000	1,282,380	-17,620
音楽会	650,000	648,000	-2,000
松桜会講座	650,000	634,380	-15,620
利息収入	7,400	10,124	2,724
基本財産	6,000	5,651	-349
積立財産	400	516	116
運用財産	1,000	375	-625
百周年口座	0	3,582	3,582
寄付金収入	0	217,220	217,220
雑収入	15,000	41,210	26,210
百周年口座取崩	100,000	1,437,556	1,337,556
当期収入計 (A)	9,247,400	11,222,490	1,975,090
前期繰越収支差額	2,571,009	2,571,009	0
合計 (B)	11,818,409	13,793,499	1,975,090

差異は決算額-予算額とした

18年度会費前受金 118,000円

## 支出の部

科目	予算額	決算額	差異
事業費	7,290,000	5,953,572	1,336,428
講演会	100,000	0	100,000
助成金	250,000	250,000	0
会報発行発送費	4,860,000	4,070,827	789,173
編集	1,810,000	1,264,682	545,318
印刷	3,050,000	2,806,145	243,855
名簿維持費	350,000	195,993	154,007
H P 維持費	200,000	108,894	91,106
学園祭参加経費	100,000	98,579	1,421
音楽会経費	600,000	481,684	118,316
松桜会講座経費	700,000	612,080	87,920
コチロン活動経費	30,000	42,800	-12,800
雑費	100,000	92,715	7,285
管理費	2,450,000	2,362,697	87,303
諸手当	900,000	789,000	111,000
会議費	200,000	103,196	96,804
消耗品費	100,000	98,968	1,032
通信費	200,000	137,749	62,251
交通費	500,000	478,750	21,250
備品費	200,000	408,765	-208,765
公租公課	50,000	64,900	-14,900
雑費	300,000	281,369	18,631
予備費	100,000	0	100,000
百周年事業経費	1,245,000	1,337,556	-92,556
当期支出計 (C)	9,840,000	9,653,825	186,175
当期収支差額 (A)-(C)	-592,600	1,568,665	973,996
次期繰越収支差額 (B)-(C)	1,978,409	4,139,674	-2,159,196
合計	11,818,409	13,793,499	-1,970,650

差異は決算額-予算額とした

## 平成18年度事業計画

平成18年3月20日

1. 松桜会総会 (第4条-1)  
平成18年5月27日 (第4土曜日) 午後1時  
助成金 都立駒場高校生徒会へ贈呈  
講演会 講演者 羽島知之氏 (駒6) 午後1時30分
2. コチロンを踊る会 (第4条-2)  
毎月 第3火曜日 (8月、12月は除く) 都立駒場高等学校内 (生徒ホール)  
第1木曜日 (8月は除く) 駒場幼稚園ホール
3. 学園祭参加 (第4条-4)  
平成18年9月17日 (日)、18日 (月)  
展示及び休憩所設営
4. 松桜会会報発行 (第4条-5)  
年二回 4月 (78号)、9月 (79号)
5. 松桜会講座開催 (第4条-2)  
上期 (4月~9月) 下期 (10月~3月)  
上期講座内容

A 漢詩鑑賞	安居 緒子 (駒4)	金5回 土曜日13:30~15:00
B 錦倉再発見の散歩	酒井ユリ子 (駒6)	全4回 土曜日10:30錦倉覗
C 知られざる篆書の秘密と実習	塩小路光季 (駒12)	全4回 月曜日10:30~12:30
D 赤穂浪士の実像	谷口 真子 (駒30)	全4回 土曜日10:40~12:00

6. ホームページ (第4条-6)



# 平成18年度(下期)松桜会講座のお知らせ

- ◎対象者 駒場松桜会会員・母校教職員・PTA会員  
 ◎申し込み方法 往復はがきで松桜会事務局へ〒153-0044目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内  
 1講座は1枚のハガキでお願いします(返信ハガキにはご自分の住所もお書き下さい)  
 会員は講座名 住所 電話 氏名 卒業年度を  
 教職員は講座名 住所 電話 氏名 所属名を  
 PTA会員は講座名 住所 電話 氏名 ご子弟の氏名・学年・クラスをお書き下さい  
 各講座に記載の金額を初回の出席時にお支払い下さい  
 ◎受講料  
 ◎会場 都立駒場高校教室

9/15  
締め切り

## A 講座

### 「源氏物語」を読む

あわや ふじこ  
●講師 粟屋 不二子(旧職員)

**内 容** 源氏物語五十四帖の中から、いくつかの名場面を選び、読み進めます。時代背景をとらえつつ、時代を超えて私たちに迫るものー作品に描かれた人間存在の深さーを追求していきます。  
 5回の講座を通し、源氏物語を読む楽しさを感じていただければ幸いです。  
 「夕顔」「葵」「浮舟」(予定)

**略 歴** お茶の水女子大学文教育学部文学科国文卒  
 東京大学文学部大学院修士課程修了 博士課程中退  
 駒場高校に7年間在職。百周年記念誌「慕いて集える」の編集に携わる。  
**定 員** 30名  
**受講料** 2,500円  
**会 場** 東館和室  
**日 時** 10/28(土)11/11(土)1/13(土)2/10(土)3/3(土)  
 10:20~11:40

## B 講座

### やさしい絵画教室Ⅱ

やまなか ますこ  
●講師 山中 真寿子(駒7)

**内 容** 前回に引き続き、対象となる「もの」をよく見る。それを作者の心を通して画面に表現する楽しさを共にしたいと思います。

**略 歴** 女子美術大学芸術学部洋画科卒業 現在、春陽会会員・日本美術家連盟会員

**定 員** 20名

**受講料** 2,500円 材料費1,000円

**会 場** 東館和室

**日 時** 10/21(土)11/18(土)12/16(土)1/6(土)  
 3/17(土)  
 10:30~12:30

## C 講座

### 歌舞伎の名作に親しもうⅡ

かなもり かずこ  
●講師 金森 和子(駒18)

**内 容** 歌舞伎は、世界無形遺産に登録されただけあって、代々の役者によって受け継がれてきた芸の蓄積、世界に誇れる発想の宝庫です。それらを、名作を読むこと、観ることを通して、歌舞伎に親しんでみませんか。見どころ、名ゼリフを知って観ると、舞台がより身近に感じられ、楽しさ、面白さが倍増します。(1月は観劇の予定)

**略 歴** 「季刊歌舞伎」の編集を皮切りに、昭和51年からフリーとなり、執筆、講演、編集、翻刻などの仕事を通して、歌舞伎の普及を目指す。主な著書は「歌舞伎ファンション」(H5)「すぐわかる歌舞伎の見どころ」(H16)など。

**定 員** 45名  
**受講料** 2,500円  
**会 場** 社会科室  
**日 時** 10/28(土)11/25(土)12/16(土)1/20(土)観劇  
 2/17(土)3/17(土)  
 13:30~15:00

## D 講座

### 能の舞台へようこそ!Ⅱ

つだ かずただ  
●講師 津田 和忠(駒25)

**内 容** 前回に続き、能の世界にもう一步踏み込んでみましょう。曲趣を理解し、謡の緩急のつけ方など、少しづつ謡いこんで行きましょう。謡は肺やお腹の機能を高め、健康にとても良いのです。  
 また11月には「井筒」の観能を通して、幽玄の世界に触れてみましょう。初めての方も大歓迎です。

**略 歴** 1979年東京芸術大学音楽部邦楽科卒。能楽観世流25世家宗家観世元正師に師事。重要無形文化財保持者。社団法人観世会理事。「観風會」及び「津田和忠自演能」を主宰

**定 員** 45名

**受講料** 2,500円 初めての方はテキスト代3,860円  
 観能会費3,150円

**会 場** 社会科室

**日 時** 10/21(土)11/15(水)観能会 12/2(土)1/13(土)  
 2/3(土)3/3(土)  
 13:30~15:30

講座名	時間	月	10月	11月				12月				1月				2月				3月						
		日	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30	6	13	20	27	3	10	17	24	3	10	17	24	31
A 「源氏物語」を読む	10:20~11:40																									
B やさしい絵画教室Ⅱ	10:30~12:30																									
C 歌舞伎の名作に親しもうⅡ	13:30~15:00																									
D 能の舞台へようこそ!Ⅱ	13:30~15:30																									